

富山県におけるテナガエビの記録

不破光大・齋藤真里・稲村 修

魚津水族館 〒937-0857 富山県魚津市三ヶ 1390

Discovery of the new habitat of the *Macrobrachium nipponense*, in Toyama prefecture, Japan

Mitsuhiro FUWA Mari SAITO Osamu INAMURA

Uozu Aquarium, 1390, Sanga, Uozu-shi, Toyama 937-0857, Japan

はじめに

テナガエビ *Macrobrachium nipponense* は本州・四国・九州に分布し、河川や湖沼等の淡水域に広く生息する。一生を淡水域で生活する陸封型（湖沼型）と幼生期を海で過ごす両側回遊型（汽水湖型、河川型）の両タイプがある（豊田・関，2014）。

富山県内でのテナガエビの記録は少なく、高岡古城公園（泉ほか，1985）、氷見市上庄川（富山県，2015）、仏生寺川（奥野・布村，2010）高岡市庄川（荒木ほか，1998）（村木ほか，2018）など富山県西部で報告されているだけである。泉ら（1985）によると、「高岡古城公園濠のテナガエビは、1985年8月13日、柵形濠で泉治夫氏とともに、雄1尾を採集した。県内では農薬などですでに絶滅したと考えられており、幻の淡水エビであったが、今回の確認は富山県内における分布上、価値のあるものだ」と記しており、当時は確認例の少ない種であったことがうかがえる。また、奥野・布村（2010）では「富山県の陸水域の環境調査ではたびたび採集されている」と記されているが明確な記録はない。今回、魚津水族館の淡水魚類調査時に確認されたテナガエビの記録と、魚津水族館に提供があった記録を合わせて報告する。

方法

調査期間は2015～2019年までで、この4年間に確認されたテナガエビを対象とした。本種の特徴として、第2胸脚の各節の長さは、指節が掌部の約0.5倍、ハサミが腕節の約1.5倍、掌部が腕節の約0.8倍、腕節が長節の1.5～1.8倍である（豊田・関，2014）。特に成体のオスは顕著に特徴が表れほかの淡水性エビ類と区別できる。若い個体はハサミ脚が伸長していないため、誤同定を防ぐため全長30mm未満の個体は除外した。捕獲方法は幅30cm、目合い4mmのD型フレームの手ダモで採集した。提供があった情報は、生体もしくは写真があるものとした。

結果とまとめ

図1と表1にテナガエビが確認された6地点を、採集年月日の古いものから順に①～⑥で示した（表1の採集年月日は8桁の数字で示し、20190101は2019年1月1日を表す）。魚津水族館の調査で確認したのは②③④⑤の4か所、情報提供は①⑥の2か所であった。今回発見された場所は片貝川河口域（右岸の用水路、左岸の本川）、上市川、泉川が河口域周辺であり、下条

川，神通川，仏生寺川は河川下流域であったことから，全て両側回遊型と考えられた．⑥の生体を提供していただいた中山信幸氏は神通川でアユ漁やモクズガニのカニ籠漁を以前から行っており，聞き取りをしたところ，「モクズガニの籠にテナガエビが入ったのは今回（2019 年）が初めてだ」という．また，2016 年には上市川河口部でマハゼ釣りの外道としてテナガエビが釣れたが，これまでに魚津水族館が同場所で行ったマハゼ採集時にテナガエビが捕獲されたことはなかった．

今回のテナガエビ両側回遊型の記録は，富山県沿海地域の東西で広く確認されておりさらに調査をすることで，新たな生息地が確認されると思われる．さらに内陸部の陸封型の調査を併せて行い，テナガエビの詳しい生態などを明らかにしたい．

謝辞

魚津水族館サポーター（2015 年度）の中田仁正氏，魚津水族館ボランティア（2019 年度）の中山信幸氏と富山市科学博物館学芸員の岩田朋文氏から貴重な情報，生体や写真を提供いただきました．この場を借りて感謝申し上げます．

参考文献

- 荒木克昌・日下智敏・南部久男．1998．富山県初記録のイチモンジタナゴ．富山市科学文化センター研究報告．21：129-130．
- 泉 治夫・堀井直二郎・邑本順亮．1985．高岡古城公園の自然．Ⅷ．濠の自然．えび類 pp. 163-165．高岡生物研究会・高岡地学 研究会編著．
- 村木誠一・勘坂弘治・田子泰彦．2018．ウナギとアユの共存漁場の生態・環境特性調査．内水面増殖調査研究．平成 29 年度富山県農林水産総合技術センター水産研究所年報．pp. 106-110．
- 奥野淳児・布村 昇．2010．富山市科学博物館所蔵の富山湾ならびに富山県内陸水産コエビ類（甲殻上綱：十脚目）．富山市科学博物館研究報告．33：77-87．
- 富山県．2015．第 1 章上庄川水系の概要 4 河川環境．上庄川水系河川整備計画．p. 4．
- 豊田幸詞・関 慎太郎．2014．監修駒井智幸．テナガエビ．日本産淡水性・汽水性甲殻類 102 種 日本の淡水性エビ・カニ．pp. 85-86．誠文堂新光社．

図 1 テナガエビが確認された地点



表1 テナガエビが採集された地点および採集者

採集年月日	採集地名	河川名	採集者	個体数(捕獲方法)
① 20150430	黒部市浜石田	片貝川 右岸用水路	中田仁正	1(手ダモ)
② 20150710	射水市三ヶ	下条川 伊勢領橋	不破光大	1(手ダモ)
③ 20160805	魚津市寿町	片貝川 左岸河口	齋藤真里	1(手ダモ)
④ 20160916	滑川市魚躬	上市川 右岸河口	伊串祐紀	1(釣り)
⑤ 20171104	氷見市島尾	泉川 松田江橋	齋藤真里	8(手ダモ)
⑥ 20190726	富山市山岸	神通川 富山北大橋から1km下流左岸	中山信幸	6(カニ籠)



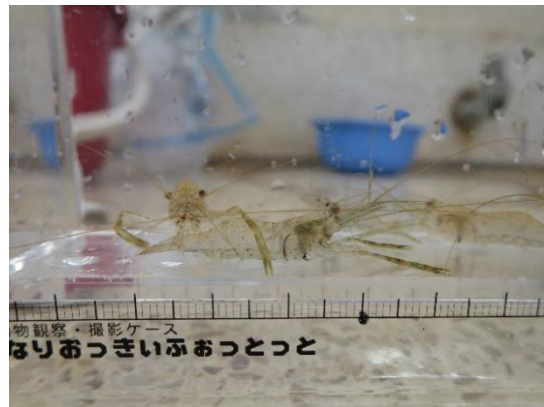
①20150430 黒部市浜石田片貝川右岸用水路



④20160916 滑川市魚躬上市川河口



②20150710 射水市三ヶ下条川伊勢領橋



⑤20171104 氷見市島尾泉川松田江橋



③20160805 魚津市寿町片貝川左岸河口



⑥20190726 富山市山岸神通川北山大橋下流

魚津水族博物館年報 第 30 号

ANNUAL REPORT OF UOZU AQUARIUM No.30

2021 年 3 月 編集

編集／魚津水族博物館

〒937-0857 魚津市三ヶ 1390

TEL (0765) 24-4100

FAX (0765) 24-4128

HP <http://uozu-aquarium.jp>

E-mail suizoku@city.uozu.toyama.jp